～笑顔♡元気　かがやく大竹～

大竹市まちづくり基本構想

【表紙】

大竹市まちづくり基本構想は、**市民に親しみを持ってもらいたい**との想いから、絵本のように気軽に読める冊子にしています。

大竹市出身のイラストレーターの秦景子さんがイラストを手がけ、**未来の市民である祖父母とその孫が、未来から現在へタイムスリップするストーリー**仕立てにしています。

【裏表紙】

実現したい　まちの将来像

【P.1～2　未来の大竹（30年後）】

市民ワークショップなどで市民が「大竹の良いところ」として挙げた「ほどよい田舎」をイメージした、30年後の大竹の姿を描いています。

近未来的なインフラや建物など目に見える形での都市的発展ではなく、**自然と調和したほどよい田舎感のある居心地の良いまちで、市民が高い幸せ感とまちへの愛着を持って暮らしている姿**を表現しています。

【P3～6　未来にあふれる「８つの幸せ」】

現在のまちの良さや、市民が感じている幸せを守り、より高めていくために、**何十年先の未来でも実現していたいまちの姿**を「未来にあふれる「８つの幸せ」」として掲げています。

大竹市伝統の手すき和紙を使った「手描き鯉のぼり」をモチーフにした、成長や発展を願う「大きなこいのぼりのコイ」で表現しています。

その周りには、市内の小学生が、未来への希望や幸せとともに描いた「小さなこいのぼりのコイ」を配置し、大きなコイと小さなコイが一緒になって泳ぐ姿を、未来に幸せがあふれている光景として表現しています。

市全体で共有する　まちづくりの基本理念

【P7～8　幸せづくりの未来宣言】

「未来にあふれる「８つの幸せ」」の実現に向けた**市民のまちづくりの決意**を宣言形式で示したもので、市全体で共有すべき、普遍的なまちづくりの理念です。

このぼりを掲げ、未来のまちづくりへの決意をする市民たちの姿を描くと共に、市民たちがまちづくりのタネを撒いたり、話し合いをするなど、**未来のまちの幸せづくりのための行動**を始めています。

「幸せづくりの未来宣言」に基づき，各分野でめざし，実現したいまちの姿を示したものです。

花を育てるように，**各分野でまちづくりにみんなで関わり，育んでいく**イメージを描いています。市民たちの想いが色とりどりの花を咲かせ，その様子を幸せのコイたちが見守っています。このコイが大きく育った姿が「未来にあふれる８つの幸せ」のコイです。

【P9～10　こんなまちをつくろう～分野別取組宣言～】